

病害虫防除技術情報第 11 号

平成 25 年 8 月 27 日

三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウおよびタバコガ類の早期発見、早期防除に努めましょう

1. 対象作物：ダイズ、野菜類(イチゴ、アブラナ科野菜)
2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ、オオタバコガ(タバコガ類)
3. 発生状況

(1)ハスモンヨトウ:フェロモントラップ(7月第6半旬~8月第5半旬・松阪市嬉野川北町)では、誘殺数は286頭(平年436.2頭)と少ない状況ですが、ダイズの巡回調査圃場(8月第4~5週)および一般圃場では、幼虫の発生が既に確認されており、今後の圃場内での増加が懸念されます(図1)。

(2)オオタバコガ:フェロモントラップ(7月第6半旬~8月第5半旬・松阪市嬉野川北町)では、誘殺数は66頭(平年14.4頭)と多い状況です(図2)。巡回調査圃場(8月第2週)では、ダイズやイチゴ子苗において、タバコガ類幼虫の発生が確認されており、注意が必要です。



図1 ハスモンヨトウによるダイズの白変葉(2013年8月23日・松阪市)

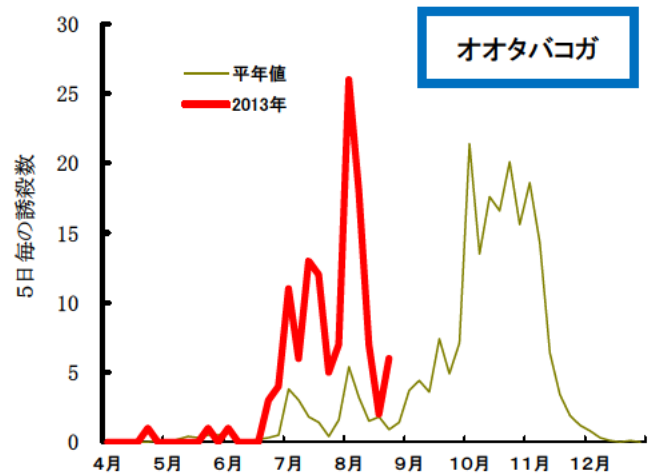


図2 フェロモントラップによるオオタバコガ成虫の誘殺消長(調査場所:松阪市嬉野川北町)

4. 防除上の注意事項

- (1)圃場を見回り、早期発見に努めてください。ハスモンヨトウでは、若齢幼虫のつくる白変葉を目印としてください。
- (2)野菜では、育苗中の苗床や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (3)施設では、ハスモンヨトウはハウスパイプや、換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。また、開口部に防虫ネットを張って、タバコガ類成虫の侵入を防止してください。
- (4)防除適期は若齢幼虫期です。老齢幼虫に対しては防除効果が劣ります。特に、タバコガ類は植物内部に食入すると防除が困難になるため、薬剤防除は食入前に行ってください。
- (5)薬剤は葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。
- (6)薬剤防除を行うときは、周辺作物の栽培状況に留意し、周辺圃場へのドリフト防止に努めましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。